

山陽公民館だより

2025年(令和7年)
4月号

第177号 2025.3.14 発行
赤磐市立山陽公民館
〒709-0827 赤磐市山陽1-10
TEL&FAX 086-955-9777
Mail sanyo-komin@city.akaiwa.lg.jp
■4月の休館日：2日、9日、16日、23日、30日

今月の論語

子曰く、義を見て為ざるは勇無きなり。

(意味) 正義だと知りながら行わないのは、勇気がないからだ。

人として、本当はすべきことと知っていても、それを実行しないというのは勇気がないからだ、という章句です。例えば、困っている人がいたら見て見ぬふりをせず、手を差し伸べる人間が一番強い人だ、とも解釈できます。

以前、バス通勤していた時、席に座っていると目の前に妊婦さんが来ました。「代わろうか」と躊躇していたら、男子高校生がさっと立ち上がりました。一般的に、勇気というと、大胆不敵に、失敗を恐れず、果敢に行動することを思い浮かべますが、この高校生の行動も大きな勇気だと思いました。

講座報告 I

■講座「そば亭やよい」

2月3日(月)

講師に公民館手打ち蕎麦グループの小谷さんをお迎えし、そば亭やよいを開店しました。47名の来店があり、カレーそばが提供されました。

とても寒い日だったので温かいそばで身も心もほっこりしました。「カレーそばは初めてだったけど、とてもおいしかった」「初めておつゆまで全部いただいた。満足!」「一人暮らしなので、公民館でみなさんと一緒におそばをいただけて、とてもうれしい」「次回も楽しみ」など、大満足の様子でした。今後も、そば亭やよいを開店し、多くの方にご賞味いただくことにしています。どうぞご期待ください。

講座報告 II

■講座「基礎からのスマホ教室」

2月7日(金)

講師にスマホアドバイザーの梶房さんをお迎えし、スマートフォン活用講座を開催しました。

スマートフォンに関する講座は初めてなので、今回は基礎編として実施しました。「スマホとは」から始まり、スマホとパソコンとの違いやスマホの特長などを学びました。その後、二つのアプリを取り上げ、実際に操作しながら理解を深めました。地図アプリではGoogleマップの操作方法を学び、山陽公民館周辺の探索を楽しみました。カメラのアプリでは撮影の手順やコツ、画像保存や検索を学び、撮影も楽しみました。最後には、個別の質疑応答の時間も設定し、新たな学びに繋げることができました。徐々にステップアップできるような連続講座を希望する参加者が多く、企画を検討中です。



講座報告 III

■講座「山陽おとな論語塾」

2月22日(土)

岡山県青少年教育センター閑谷学校の徳永さんをお迎えし、論語の学習会を開催しました。

講義では、まず、旧閑谷学校の歴史から始まり池田光政の思想や津田永忠の功績を学びました。次に、孔子の人物像や思想、論語の歴史や意義を学び、五つの章句の素読と解釈を行いました。

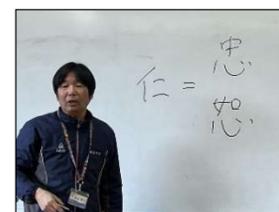
「夫子の道は、忠恕のみ」「其れ恕か。己の欲せざる所、人に施すこと勿れ」「徳は孤ならず、必ず隣有り」など、どこかで耳にしたことのある章句もあり、テンポよく声に出して読みました。章句の解釈を聞き「なるほど」「今でも通用するわね」など、新たな発見もありました。

「論語って聞くと難しいイメージがあったけど案外、わかりやすくてよかった」「説明がとても簡潔だったので、孔子の考えがよく理解できた」

「人間として大切なことばかりで、日常生活でも活かしていきたい」「この講座を定期的に続けてもらえる、もっとたくさんの論語を知ることができるので勉強になるのでは」など、次回を期待する声がたくさんありました。



旧閑谷学校と津田永忠



論語の中核「仁」



論語の解説



生活に活かす



声に出して素読



心地よいリズム

お知らせ

■グループ活動から素敵な詩が誕生しました

公民館グループ「スマッシュ会」の広報誌に、とても素敵な詩が掲載されていました。メンバーの方が書かれた作品で、活動の楽しさとみなさんの心の動きが伝わってきます。許可をいただいたのでご紹介します。



卓球ええよ

上垣内啓子

カッ カッ カッ
下回転 上回転 横回転
サーブ さっぱり わからんな
まあ あたりや ええんじやろ
返しゃ ええんじやろ
そうじゃけど どうしてそがあに
曲がるんで

球が倍に見えるメガネが ほしいわ
そうすりゃ スマッシュ なんぼでも
打つんじゃけどな

じゃけど
友達 ようけできたわ
みんな ええ顔 しとる
若こう 見えるけんな
ええッ グランドゴルフもしとんかな
やぎも 飼うとんかな
大根も キャベツも 植えとんかな
みんな すげえな
たまにや 言い合いして
もめることも あるけどな

カッ カッ カッ
もうすぐ十年来るが
ま 行けるとこまで
ラケット 握るしか ねえな